

大子産米販売促進協議会による知事表敬訪問

お米コンテスト「日本一」報告

このたび、おいしいお米の生産に取り組む大子産米販売促進協議会が、知事を表敬訪問しました。

令和4年12月に開催された「第1回全日本お米グランプリin北広島町」で、県北地域の**大子産米が日本一（グランプリ）を獲得**したについて知事に報告し、「日本一のお米の試食（おにぎりの食べ比べ）」をしていただきました。

－大子産米販売促進協議会による知事への「日本一」の報告－

- ◇ 日 時：令和5年2月15日（水）
- ◇ 場 所：県庁 知事応接室
- ◇ 訪問者：高梨 大子町長、菊池 大子産米販売促進協議会長 計9名
＜「第1回全日本お米グランプリin北広島町 受賞結果＞

	生産者	品 種
グランプリ	藤田 久人（大子町）	コシヒカリ
銀 賞	寺門 安男（大子町）	にこまる
銀 賞	土屋 勉（大子町）	コシヒカリ



【大子産米販売促進協議会】 ミネラル豊富な八溝山湧水＋寒暖差の大きな気象条件→うま味が凝縮されたお米
大子町の稲作農家により平成19年に設立。「コシヒカリ」のほか、「にこまる」や「ゆうだい21」などの新品種も導入し、日々、栽培改善や食味・品質の向上に努めている。特に、「量より質」をモットーに、協議会のメンバーで工夫をしながら、技術研鑽に意欲的に取り組んでいる。

⇒これまでも、各種のコンテストで上位入賞をするなど、大子産のお米は、高い評価を受けている。

【大井川 知事からのコメント】

- ・日本一おめでとうございます。茨城のお米の味と品質の良さ。量より質、ブランド力あげることが大事。大子のお米が「おいしいお米」の代名詞になった。（試食後）完食しました。「世界に誇るお米」です。



大子産米販売促進協議会メンバー



試食：大井川知事、高梨大子町長、石川県議会議長



【左】グランプリ（藤田氏）、【右】銀賞（寺門氏）

県北農林事務所では、現在、主食用米の需要が全国的に減少傾向にあるなか、「収量の増」から「食味の向上」への転換や、関係機関と連携して、付加価値の高い米づくりの取組を推進しているところです。

特に、近年は、全国の米産地で「良食味」の付加価値の高い米づくりに関する競争が激化しており、県北産米のイメージアップとブランド化を強化するため、各種コンテストを通して、「県北産米のおいしさ」を広くPRし、認知度等を高める取組も進めているところです。

今後とも、引き続き、関係機関等との連携により、現場における技術支援や、補助事業等を活用した支援、さらには、情報発信等の強化を通して、県北地域における「付加価値の向上に向けた米づくりの取組」を推進してまいります。